

総題 “約束 神の永遠の契約”

教団青年部

2021年5月15日～21日

第8課 題：契約の律法

執筆者：金城博明

● 今週のポイント

日曜日・・・イスラエル民族が選民となったのは、神の側からの一方的な恵みです。彼らが選民として選ばれる功績があったからではありません。同様に、私たちクリスチャンも、「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだのである・・・それは、あなたがたが行って実をむすび、その実がいつまでも残るため（ヨハネ 15：16）」に選ばれました。選ばれた者として福音を伝えて行きたいと思います。

月曜日・・・申命記 4：13 を見ますと、神は契約を告げ示し、行うべきこととして十戒を与えられたと書かれております。ゆえに契約と律法は一体であり、切り離せません。自動車を運転していて、交通標識、信号が無ければどうでしょうか？ 危険ですね。同様に、律法がなければ私たちの信仰生活は安全ではありません。

火曜日・・・契約の中の律法は十戒だけではなく、衛生、農耕、民事、社会生活、礼拝等、生活の全範囲にまでに及びます。神はなぜ詳細に律法を与えられたのでしょうか？申命記 10：13 では「主の命令と定めとを守って、さいわいを得ることである」と書かれています。

水曜日・・・神の律法が不変性を持つ理由は、律法は神の御品性の写しであるからです。神と契約を結んだクリスチャンは、絶えず律法（神の御品性）を見据えて、神の恵みによって私たちの品性がキリストに似てくるのです。

木曜日・・・聖書の中には至る所で「もし契約を守るならば・・・」という言葉が出てきます。神が人間を創造された時、ロボットのように何でも「はい」と答えるような存在には造りませんでした。反対に人間に自由意思を与えられました。神はその自由意思を用いて、契約を守る選択を私たちに期待されます。しかし、ガイド 62 頁の最後の 3 行に書かれているように、私たちは契約を守るから祝福を獲得するのではなく、祝福を約束された神が人間を祝福する義務を負われ、結果、私たちは祝福されます。

● ディスカッションのためのテーマ

- ① 金曜日の SDA 聖書注解の言葉を読んで下さい。なぜ私たちは律法を守る為には「愛」が最も大事なのでしょう？ なぜ「愛」なしの律法は無意味なのでしょう？
- ② 私たちはクリスチャンになって幸せですか？ 安息日を守れて幸せですか？ もし、幸せではなく、重荷となっているようでしたら、どこか信仰生活に問題があります。シェアしてみてください。

● 補足・コメント

「私たちは自分の心を変えたり、また自分で愛情を神にささげることにはできません。けれども、神に仕えようと選ぶことはできます。そうすれば、神は私たちのうちにお働きになって、神の喜ばれるように望み、また行わせるようにして下さいます」（『希望への光』 1950 頁）。